



第2回 市民懇談会を 開催しました！

第2回目となる今回は「世代をこえて住み続けたいまち 福祉、健康、子育てについて考える」をテーマに、24名の市民の皆さんと6名の市役所若手職員で話し合いました。

最初に福祉、健康、子育てに関する現状を説明した後、市の施策について旗揚げアンケートでお答えいただきました（p2）。その後、『将来の越谷市が…だったらいいネ！』という思いをカードに書き、グループごとに自己紹介していただきました（P3～5）。そしてこの分野に関連した越谷の問題点を洗い出し、それを解決するような『5つの夢プロジェクト』をまとめていただきました。最後にグループでまとめた考えを発表していただき（p6～10）、感想カードを書き（p11～12）、第2回目のワークショップを終了しました。

旗揚げアンケートでも縦割りにとらわれない複合的な施策を求める声が出されていましたが、5つの夢プロジェクトにも、福祉の壁にとらわれない市民目線からの素晴らしい考えがたくさん出されました。障がいのある方や子育てママやパパも一緒になって、多様な意見交換の場になったと思います。次回もよろしくお願いします。

[市民懇談会 開催スケジュール]

- 1 7月13日(土) 13:30～16:00
「10年後に実現したい越谷の夢を考える」
- 2 8月4日(日) 13:30～16:00
「福祉、健康、子育てについて考える」
- 3 8月17日(土) 13:30～16:00
「都市計画、住宅環境、交通、公園について考える」
- 4 8月31日(土) 13:30～16:00
「環境、防災について考える」
- 5 9月14日(土) 13:30～16:00
「産業振興、観光について考える」
- 6 9月28日(土) 13:30～16:00
「教育、生涯学習について考える」
- 7 10月12日(土) 13:30～16:00
「参加と協働による取組について考える」

<第2回プログラム>

- ステップ1：はじめに
- ステップ2：[旗揚げアンケート]
- ステップ3：自己紹介
『…だったらいいネ！』
- ステップ4：10年後の越谷
『5つの夢プロジェクト』
- ステップ5：プロジェクトの発表
- ステップ6：まとめ

旗揚げアンケートで
皆さんのご意見をお聞きました。



『旗揚げアンケート』

越谷市の『福祉、健康、子育て』分野の施策全般について旗揚げアンケートでお聞きしました。

【設問】 あなたは、越谷市の『福祉、健康、子育て』分野の施策について満足していますか？
一つを選んで番号札を上げて下さい。

① 概ね満足している。市はよくやっていると思う。	5
② 越谷市の「福祉、健康、子育て」分野の施策は、他市と比較しても誇れる点がある。	5
③ いくつかの点で気になることがある。市民の声をよく聞いて欲しい。	13
④ 具体的な内容についてよく知らない。	4
⑤ その他	0



を選んで

参加者－1：市は良くやっていると思うが完全に満足しているわけではないので、これからもっと充実していただきたいと思う。

参加者－2：うちのお店に来るお母さん方から「越谷は住みやすい、充実している」と聞いている。若い人達がどう思っているかが一番大事だと思う。



を選んで

参加者－4：学童保育室の待機児童が減っていない。自治会やPTAでお母さん方からよく聞く声で、早く減って欲しいというのが一番。また、対象者別のサービスは分かり易いが、えてして無駄が発生する。例えばシルバーと子育てを一緒にするなど、施策の複合化に取り組んでいただきたい。

参加者－5：一つ一つのテーマには連動するので縦割りではなく、できるだけ一緒に考えた方が、地域で生活しやすいのではないかと。例えばミラクルは誇れる施設だと思うが、実際は近くに住む子ども達以外は利用しにくい。越谷は広く、市内でも格差がありすぎるような気がする。一緒に考えられることを施策に入れ、日常歩いて生活しているところをベースにしたら良いと思う。

参加者－6：一つは学童保育の待機児童が減っていない。また学校のエアコンが理科室、家庭科室のような特殊授業の教室や体育館には設置できて



を選んで

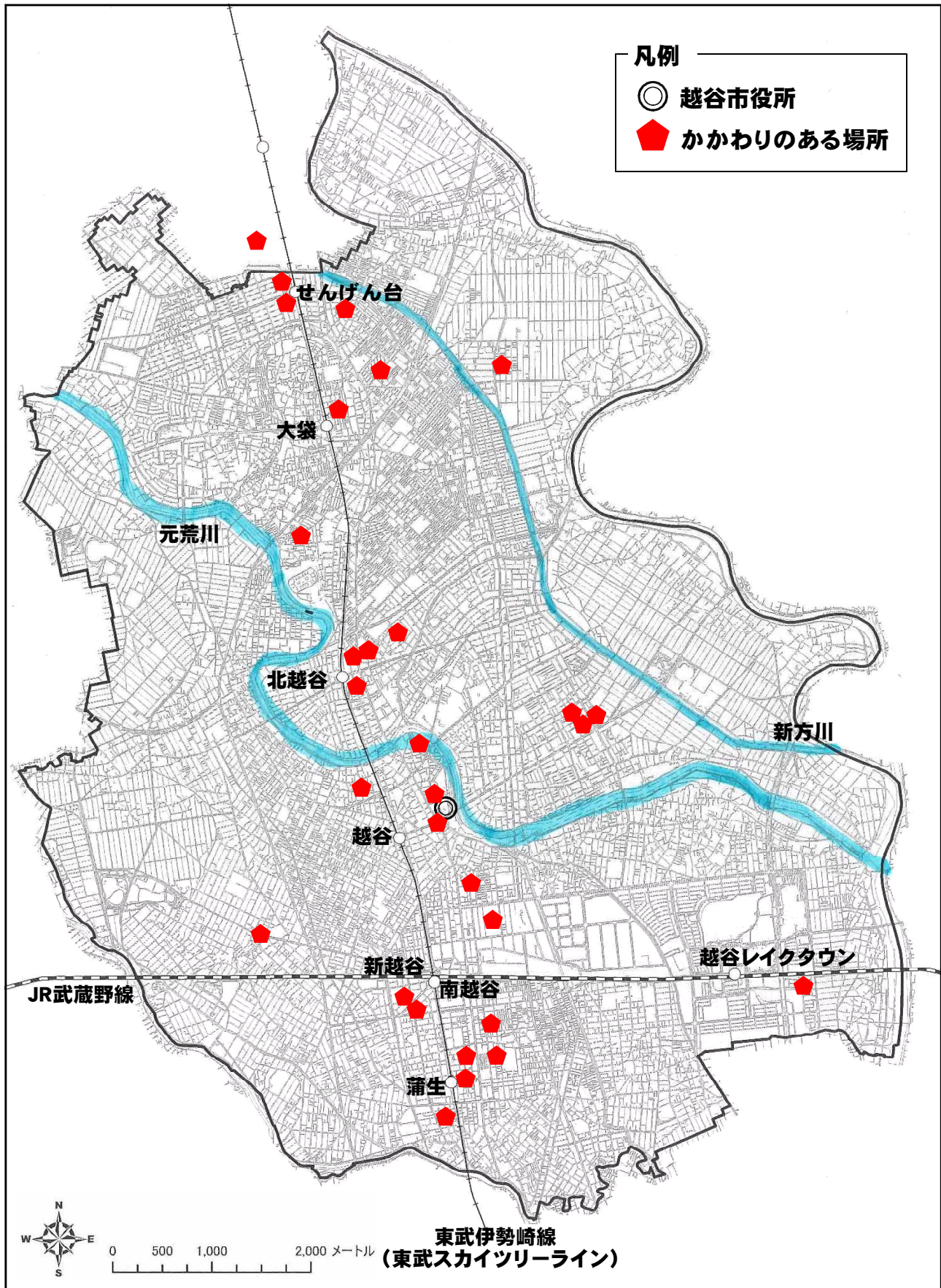
参加者－3：視覚障がい者の立場から。見えている方の感覚では②かと思うが、障がい者としては③か④。市役所の人には、市民の声をもう少し聞いてもらえたら良いなと思う。

いない。体育館は災害時の市民の避難所にも指定されるところなので防災、子育ての観点から見ても非常に危なっかしい。越谷の中学校には一学年に不登校が4～7人ぐらいいる。家庭の事情や人間関係もあるが、市として手立てが何かあるのではないかと。今、レイクタウンに住む子ども達が行く学校では校舎が足りず、プレハブ校舎を建てており、校庭が狭くなって体育祭が出来にくい現状がある。その解消に向けて、大きなメスが必要だと思う。

参加者－7：資料は全国版と越谷市と分けているが、もっと越谷市に限定して深く掘り下げて欲しい。私は放課後子ども教室で子ども達の世話をしているが、いろんな家庭環境の子どもが来ている。そこにどこまで行政の声を届けて行くべきかと考えると、まだまだ届いていないところがあるので③を選んだ。

自己紹介『…だったらいいネ!』

地図に自分にかかわりのある場所（お住まい等）をシールで貼った後、『福祉、健康、子育て』の分野について、『将来の越谷市が…だったらいいネ!』を書いて、グループで自己紹介していただきました。



- 高齢者で仕事を退いた方が気軽に出席できる施設等が充実し(近くに点在)そこまで歩いて安全に行けたらと思う。サロンや通い場のさらなる充実。またその施設は世代間の交流が図られるものもあって欲しい(小学校の空き教室を高齢者の方に開放すると共に、小学生、幼稚園生等と一緒に交流できるような)。またその担い手の方が増えて欲しいと思っています。
- 健康、長寿者が沢山いる街。年代がまざって参加できる場所などがある。障がい関係なく住みやすい街。新しい市役所(建物)がいろいろな人に対応していただきたい。
- 暮らしやすい街。自慢できる街。包括ケア先進市。窓口1つ。市民活動、市のバックアップ。市限界。一体化。コミュニティ充実。
- 夏、暑くないまちになったらいいネ!美術館ができるといいネ!近くに老人施設、図書館ができるといいネ!

多様性が
活きるまち

- 多様性が活きるまち→年齢や世代関係なく、地域が成り立つような社会福祉。自分に関係のある社会福祉施策だけではなく、市に居住する人が互いに想い遣れるように…。
- 多様化が認められる越谷。男女平等。不登校の子どもの学ぶ場、行き場(受け皿)。外国人も暮らしやすい。性的マイノリティに配慮した意識づくり。



1グループ



2グループ

誰もが暮らし
やすいまち

- 市民活動を支え、協力した、たすけ合いサービスの向上。民生委員等の負担が多く、なり手が不足。自治会との連携、活動の位置づけ向上。タウンミーティング。子育てサロン/ふれあいサロン/オレンジカフェの複合施設化。
- 越谷市個別に素晴らしい取組がある。しかし全体に波及しない。そこで自治会館の活用を提案。ふれあいサロン、子育てサロン、学童保育室、放課後子ども教室、予防介護事業に取り組む自治会(NPO、各種団体を含む)に積極的に支援を行うのはいかがでしょう!
- まずは身近なところ(ご近所)から高齢者・子ども・障がいのある方が助け合って生きていける場所。

助け合い
支え合うまち

必要な情報が
手に入るまち

- 障がいのある人もない人も、ともに暮らしていくまち。なにを市がやっているのかわかりづらい。ワンストップサービスを受けづらい。事象にあった相談窓口がわかりづらい。
- 市立病院と地域の診療所や介護・老健施設などがもっと密な、情報共有や連携ができる越谷市だったらいいと思っています。
- 将来の越谷市が福祉や医療について発展して、皆なの心配や不安が少ない街であつたらいいと思います。情報がすぐにわかる、困ったことがすぐ相談できる等…。

賑やかな
まち

- 市の指針には共感。自分は年代的には一番無関係な立場にあると思っている。市の取組は年毎に強化されているのは事実。子どもの笑い声、さわいでいる声が町中にひびいて、楽しさがわかる町になれば良いと思う。みんなが参加できる、参加者が増える事が望ましい。
- 現在、民生児童委員を受けています。くらし安心課に届けた件。最近の子どもも人数が少なく、朝の出勤時にも登校する姿が見られないのでさみしいです。老人施設の清掃を5時間程やってます。

- いつ行っても楽しめる学校
←誰もが。両親が働いていても安心して子育てができる。高齢になっても誰もが健康で暮らせる。若者から高齢者まで、世代を超えて交流できる。障がい者にとって日本で一番暮らしやすい街。
- 子どもが住みやすい安全、安心環境作り！平等な教育が受けられる。高齢者の健康、精神問題。新しいシステム作り、条例整備。他の市や提携都市との協力。文化交流。
- 若い世代から高齢世代までと一緒に活動できる、孤独にならない街をつくり上げることを理念として掲げられれば良いと思います。
- ①エリア住民の見える化！互助、共助といったかつての緩やかな連帯感を取り戻すことで子育て、介護、防災についての自発的活動が高まっている。②世代間交流の活発化！同属世代だけが集まって交流するのではなく、多様な層の世代が、垣根を越えて交流することで、自分の住む街について関心が高まる。
- お年寄りとお子さんや幼児と一緒に生活できる街（民間企業にならって。JRやマンションなど）。地域が一体となって生活（子育ても介護も）できる街（例：地域見守り隊、ファシサポ）。子どもが安全に気兼ねなく走り回れる場所がたくさん。高齢者や大人の方も一緒にできるともったいいね!!（公園や校庭、園庭など）。
- 私は大袋地区袋山在住です。母方の実家が家から5分の所にあり、戦争を経験した曾祖母と祖父母に幼少期は育てられました。将来の越谷については、脱家族化が進み、上下世代の繋がりが密になる様な、そんな都市になるとよいと考えております。
- 将来10年後（30年後）、全国の青年たちが越谷だったら自分達の夢を実現できるという、きっかけの町にする。文化・文芸・研究・学問。自由に話せる。若い人達のお話をよく聞く。心配はしてもいろいろ言われたい、責任は大人が何とかしてあげる。大人は聞き役、そんな場所を目指す（子どもからお年寄りまで）。若い人たちの活躍できる町づくり。

世代間交流の
できるまち

- 「孤育てにならないような
越谷市になったらいいネ！」
現存する公共施設等（民間施設もバリアフリー等の条件を満たせば含め）を利用して、高齢者や児童、老若男女、なるべく多くの人が交流し、活発な活動ができるようにしたいです。
- 子育て世代が生活しやすい。保育園、学童など。高齢者が外出しやすい。バス。運動しやすい公園。
- 子育て：特に病児が即日入所できるように手続きを簡素化していただくとともに、市内随所に病児保育所を準備していただきたい。健康：さてどこにと考えると、どうしても獨協大学医大埼玉医療センター受診と考えてしまう。越谷市立病院の信頼感（最新医療機器を備えて優秀なDr. が多数）を高めてほしい。
- 学童保育・放課後子ども教室。子ども食堂の認知。統一運営組織。体育館・老人ホームなどの利用ルールの規制緩和。市立病院の建設。安心・安全、交通制度の教育。

子育て
しやすいまち

安心・
安全なまち

- お年寄り、身体が不自由な方にとって住みやすい町になると良い→車に乗れなくても、歩く環境や交通機関の充実が必須。子育てをする方にとって安心、安全な町にしたい→公園が減っている。散歩出来る道を増やしていく。
- 安心してまちの中を歩けるようなまちだったらいいネ！（いま、いろいろな事件があるので）障がい者でも安心して歩けるまちだったらいいネ！
- デートで歩きたくなる街。一人散歩でも行ってみたくなる街。日常、車を使わなくても（高齢者も子どもも）安心して暮らせるまち。木陰のある道、徒歩圏にお店があるまち。市職員がいきいきしてるまち。
- 誰もがかかりたい時に医療を利用できる環境（夜間、救急）。安心して住める街。



10年後の越谷『5つの夢プロジェクト』を考えよう！

『福祉、健康、子育て』に関連した『越谷のここが問題』をポストイットに書き出した後、問題点を解決するような『5つの夢プロジェクト』をグループで話し合っていて考えていただきました。

1 グループ

1. 向こう3軒両隣り精神の普及
2. 多世代間の交流の場と機会を作る
3. 安全で外に出たくなる整備
4. 病児保育所の増設
5. 集まれる場所を増やす

(具体的なご意見)

- ・自治会の中に福祉部門がほとんどないのではないか(予想)。旧態依然。
- ・マンション内のコミュニケーションが段々薄くなってくる。個人情報保護法の影響か。
- ・地域内のかかわりが少なくなっている。
- ・一人住まいの方が地域にいて、近所の方とのトラブルがあることを知らされた。
- ・マンションの独居老人にどのようにアプローチしていいか問題だ。
- ・問題がうもれてしまい外に出てこない。
- ・どこにどういう相談をするかわからない。
- ・多世代間の交流。特に若者と高齢者間。
- ・仕事場にて、老人施設の方々とのコミュニケーションを持てるのが良いと思っている。
- ・高齢者と親世代、子世代の交流が少ない。
- ・子どもたちの安全を守ることと交流することの両立ができていない。
- ・その土地に長く住んでいる方と転入した方との壁がある。
- ・近くのに誰が住んでいるのか知らないことが多い。
- ・高齢者世代の体験や知識が上手に下の世代に伝わらない。
- ・子どもの人数が少ないので、児童委員として活動が減少している。
- ・安全に歩ける歩道の整備。バス路線も。
- ・高齢者の移動手段がなく、家にこもっている。
- ・病児保育所を少なくとも3～4ヶ所設置。
- ・市立病院の将来像はどうあるべきか。入院に特化？
- ・サロン、通い場が自治会館に偏っている。空き家の利用、空き教室の活用は？
- ・日本社会の流れは環境→福祉となって来ている。

2 グループ

1. ジェネレーションギャップ万歳!!!
～若者・高齢者？みんなが思い遣れるまち～
2. 多様性大歓迎!!
～障がい者でも安心して暮らせるまち～
3. マルチスポット大発生!?
～マルチな複合施設がいたるところにあるまち～
4. 「ママ、出掛けてくるね！」と言えるまち
～待機児童？なんのその！～

(具体的なご意見)

- ・福祉ってインフラが整ってこそじゃないですか。
- ・市が広いのでサービスが行きわたらない。
- ・障がい者でも安心して歩けるまちづくり。
- ・障がい者は”してもらって”ではなく、”できること”で”ありがとう”といわれる存在に。
- ・様々な障がい者への対応が遅れている。
- ・社会福祉に従事している人の福利厚生が少ない。
- ・川は多いが緑が少ない(暑い!!)
- ・図書館は”駅チカ”で!!近所の人だけが利用しやすい？
- ・美術館をつくってほしい。
- ・老人センターまで遠い。
- ・大袋地区にも老人福祉センターを。
- ・場のポテンシャルを多機能化で活かす。
- ・ふれあいサロン登録者は増えているがボランティアセンター登録者は減っている。
- ・地域の間で施設などの格差がある。
- ・子ども、障がい者、老人が集える横断的施設を
- ・社会福祉施設のバラツキがある。
- ・外国の子どもが勉強しやすく暮らしやすいまちづくり。
- ・学童保育待機児童が多い。
- ・ジェネレーションギャップ万歳!!!
- ・個々が生きるくらし。
- ・人と人同士の思い遣りが足りない…。
- ・地域コミュニティが希薄。
- ・若い人と高齢者の間で連携できていない。
- ・個人情報という点でむずかしいかもしれないが、近所で情報共有できないか。
- ・困っている人の情報が助けたい人に伝わらない。
- ・問題を横断的に対応できない(高齢化と待機児童など)。

3 グループ

1. 土地の有効活用。子どもの遊び場
2. 子育て世代が子育てしやすい街づくり
保育園、学童、女性活躍の連携
3. 働きざかり世代への健診きっかけ作り
4. 自治会館の活用

(具体的なご意見)

- ・ふれあいサロンへの参加者の伸び悩み(推測)
- ・がん健診率の高(低)止まり。
- ・予防介護事業、健康づくり事業の取組が広がらない。
- ・市役所の若手職員の育成と活用が足りない。
- ・市政、テーマにあった詳細なデータが足りない(地区別、年齢別など)。
- ・個別の良い取組も全体に広がらない。
- ・水と緑に恵まれた街というが、北越谷元荒川堤の桜並木の保存問題はどうか？
- ・自転車通行のルールを再教育。自動車学校の教育再検討。
- ・キャッチボールやボール蹴りができる遊び場が少ない(小学校高学年用の公園がない)。
- ・子どもの遊び場。
- ・越谷市民に、あんまり越谷市役所に頼るのはやめよう、独立独歩、自分達のことは自分達でやろう。
- ・越谷には優秀な男の人は少ないが、有能な女性が多い。そういう人を将来の越谷のオブザーバーにしては？
- ・文教大学と県立大学生の意見をもっと聞く。いろいろなプロジェクトに参加してもらう。
- ・越谷市役所はお年寄りが多すぎ。やめさせる事はないので、若くて優秀な人がいるので若手に任せよう。
- ・越谷は特殊な町。「地主」の人達に活躍の場をつくらう。
- ・夜間救急、診療所が使いにくい。認知されていない。
- ・お年寄りが子ども達に教えられるものを身につけよう(演劇、伝統工芸)。
- ・精神障害が増えていることの理由(分析したか?)とその対策は？
- ・1人あたりの医療費の増加。
- ・子どもの数が減っているなら学校や先生の数も減っているか？減っていない場合はその理由は何か？
- ・子ども対策の一元化。
- ・学童保育室の待機児童。
- ・学童保育室が足りない(各小学校2室化しても足りない)。
- ・保育園、近くに入れない。
- ・出生数の伸び(下降していると思う)。

4 グループ

1. 自治会の若い世代を増やす
2. 待機児童をなくす
3. バス路線の充実
4. 夏の気温を2度下げる
5. 街カフェを作る

(具体的なご意見)

- ・自治会って話しよい？
- ・自治会に入りたくない。入ってるけど…なんとなくイヤ〜…。そのこと、掘り下げてみようよ。
- ・そもそも若手世代が「福祉・健康・子育て」について取り組もうという意識が希薄
- ・待機児童が少なくなるように…。
- ・待機児童
- ・バス路線
- ・高齢になってもはたらく場をつくる。
- ・福祉にやさしい町づくり。
- ・健康診断
- ・障がい者雇用促進。
- ・夏気温2度下げ対策をまじめに考える→健康、子育て、福祉の全てのベースになる。
- ・水郷越谷 越谷の河をもっと活かそう。
- ・遠くの大きな施設より身近な水辺カフェ。
- ・地域の公民館は13ある？もっと近くにある公的〇〇ハウスカフェみたいな語れる場。
- ・軽い運動ができる場をつくってほしい。
- ・ミラクルのような場所をもう少しふやして建ててほしい。
- ・他人の子どもへ「子育て目線」を向けにくい。
※プライバシー、個人の権利の拡大
- ・行政とボランティア頼みなのが問題。
- ・児童福祉施設、高齢者福祉施設、障がい者福祉施設＝縦割り状況。
- ・子どもの遊び場が足りない。
- ・子どもが増えている分の施設が足りない(学校、保育所)。



3グループ



5 グループ

1. あっちこっちでタウンミーティング!!
2. ワンストップで包括ケア!!
3. ハード（施設）だけど柔軟に!!
4. みんないっしょに😊
5. 若者に『越しておいでヨ越谷へ🎵』と言える街!!

（具体的なご意見）

- ・市政に対する意見交換会があっても反映されない
- ・市民コミュニケーションの活性化。「タウンミーティング」を自治会等で開催
- ・市民活動に権限移譲を。評価指標に。5次は0→X
- ・市がコミュニティ活動を支え、協力した「たすけ合いサービス」を向上する
- ・ボランティアへの託児サービスを原則化
- ・高齢者と子ども、障がい者と健常者など、枠でくくられすぎて動きづらい
- ・若者に「越しておいでヨ越谷へ」といえるまち…とは？
- ・市民活動の活性化と市のバックアップ
- ・包括ケアが未発達
- ・課題：人口動態 サービスを受ける高齢者、弱者の数、比率が増す
- ・課題：行政効率化 施策／施設が縦割り。子育てサロン、ふれあいサロン、オレンジカフェなど。
- ・窓口が縦割り。ワンストップサービスを受けられない。
- ・定期健康診断通知が受診しているにもかかわらず再度来る。税金のムダ使い。
- ・子育て見守る自治会がしっかりしてネ！
- ・自治会のコミュニティ作り
- ・高齢者の健康、心の健康をどうする
- ・地域の人が介護し易い仕組み
- ・課題：周知・コミ 市の活動、状況を具体的に知らない
- ・子どもをボールで遊ばせたいが公園は禁止（ルール）。校庭はプレハブ校舎で狭い。
- ・課題：評価指標 待機児童が高止まりしている
- ・責任や補償など、ルールがきつすぎて助け合えない
- ・民生委員、PTA職員、自治会役員の負担が多い。なり手がいない。
- ・若者が疲弊しない町が良いな
- ・増税ではなく増勢（市民活動）へ
- ・幼稚園が足りない。保育園はたくさんできているのに…
- ・公園が足りない。地域格差も感じます…
- ・小学校が足りない。仮設校舎で校庭がなくなる、学区編成が変わりすぎ…

6 グループ

1. 待機児童を減らしたい
2. 住まいに直結するサービス
3. 交通システムの自動化
4. 健康寿命の仕組み作り
5. 治安の良い環境作り

（具体的なご意見）

1

- ・待機児童を減らしたい!!
- ・望む保育園、幼稚園に入れたい!!
- ・一時保育先（0才～）が増えるといいな…

2

- ・認知症予防への取組
- ・お年寄りや障がいのある方が集まれる場所を増やして欲しい
- ・ちょっとした困り事を手助けしてほしい
- ・住まいに直結するサービス
- ・拠点整備の考え方

3

- ・福祉バス 小平市ブルベイ号（地域の乗り合いタクシー、NHK7/5）
- ・健康面 散歩コースが欲しい
- ・道路が危ない。※車が優先
- ・バス路線が廃止された。困っている。

4

- ・健康に老いて行くことができるしくみづくり
- ・精神的な相談所がない（子どもはあった気がする）

5

- ・子どもが自由に外で遊べない
- ・近所のおつきあいが薄い（注意できない）

各グループの発表から

<1グループ>

1. 向こう3軒両隣り精神の普及

マンションでも一戸建てでも、隣近所さんとの交流がなされていない。グループがあっても他の人が入りにくいグループなので、孤立化を防ぐことが出来ていない。

2. 多世代間の交流の場と機会を作る

多世代間の交流が少なくなり、昔の大家族時代の良さがなくなっている。今は小学1年生を対象にお年寄りと交流する場くらいしかないで、交流の機会を作る。

3. 安全で外に出たくなる整備

バス路線の整備、運用を含めた社会基盤の整備。歩道や公園の整備も必要。

4. 病児保育所の増設

市内に1ヶ所しかなく、何かあった時に困る。もう少し増やしてもらいたい。

5. 集まれる場所を増やす

集まれる場所として空き家を活用出来ないか。また空き教室を開放すれば、世代間の交流も図れるようになるのではないかな。

<2グループ>

1. ジェネレーションギャップ万歳!!!

お互いを想い遣れるまちづくりが必要なのではないか。今は困った時にちょっと手を差し伸べるような想い遣りが希薄になっている。世代間の垣根をなくすべき。

2. 多様性大歓迎!!

障がいのある方、ない方、多様性が叫ばれているが、いろんな人がいていい、それぞれ個性があっていいということを、みんなが受け入れられるような町になれば良い。

3. マルチスポット大発生!?

それぞれに特化した機能を持つ場所は点在するが数は少ないので、一つの施設のインフラ、経費の中でマルチ機能を持つスポットを多く整備する。

4. 「ママ、出掛けてくるね!」が言えるまち

学童保育の待機児童が多く共働きがしにくい。隣近所の付き合いを濃くして、子ども達を預かれるような町の人の気質を高めていったらどうか。

<3グループ>

1. 土地の有効活用。子どもの遊び場。

大きな地主の土地を子どもの遊び場として活用できないか。お父さんと一緒にキャッチボールをしたり駆けっこしたり出来る、子どもが生き生きと遊べる場が欲しい。

2. 子育て世代が子育てしやすい街づくり

子育てしやすいければ、働きたい人への支援につながるのではないかな。保育園、学童の解決策につながるのではないかな。

3. 働きざかり世代への健診きっかけ作り

働き盛りの人は予防に無関心なので事例を挙げながら啓蒙活動を続けたい。私も3年前、癌の手術をしたが早期だったので今はピンピンしている。伝えていくことで、予防医療に対する考え方が変わってくるのではないかな。

4. 自治会館の活用

駅から遠い自治会館は活用出来ていないので、予算を付けてもっと活用したい。また若い人にも自治会長になってもらう動きもあって良いのでは。

<4グループ>

1. 自治会会員の若い世代を増やす

若い世代が増えて意見を聞いてもらえるようになれば、自治会の体質や内容も変わるかもしれないし、若い自治会長が出てくれば地域の活性化にもつながるのではないかな。

2. 待機児童をなくす

地域にいる元保育士さんを個人レベルで活用できないか。ソフト面に対応できないかな。

3. バス路線の充実

福祉施設等から町の中心に出てきて、コミュニケーションが出来るようにするには、バスに限らず、何らかの交通手段が今よりは充実していないといけない。

4. 夏の気温を2度下げる

まずは題目を決め、どうすれば良いのかを考える。

5. 街カフェを作る

新しいものをつくらなくても、地域の公民館や自治会館等、旧来のインフラをオープンスペースにしていって良い。

<5グループ>

1. あっちこっちでタウンミーティング!!

いろんな意見が醸成されて市に対する要望が明確になることが市民活動の基本、基礎。井戸端会議の続きでできたら良い。

2. ワンストップで包括ケア!!

「一度で済ませたい」「面倒臭いから」ではなく、同じ説明をすることを省くことによってより良い包括ケアを求めるためのワンストップにして欲しい。

3. ハード（施設）だけど柔軟に!!

公園、小学校、中学校、幼稚園が足りないという思いから出た。学区ではなく、子どもの目線や立場、子どものために柔軟に考えていく必要があるのではないかな。

4. みんないっしょに

子ども、障がい者、健常者という枠でくくらず、みんな一緒に、幸せに暮らしていける越谷を目指したい。

5. 若者に『越しておいでヨ越谷へ』と言える街!!

若者が越谷に増えることに付随して子育て、介護が活性化するのはないかな。

<6グループ>

1. 待機児童を減らしたい

施設を増やさなくても、子どもを預かれる人がいれば良い。また生活と仕事が一体化する仕組みづくりもあり得る。駅前の空きスペースをテレワーク等ができるように活用すれば、手を挙げてくる企業はいくらでもいると思う。

2. 住まいに直結するサービス

空いている場所を整備して、NPO等に「こういう場所がありますよ」と市から投げかけ、きっかけ作りをして欲しい。

3. 交通システムの自動化

この10年で交通のイメージを作り20年、その先のことを考えた取り組みをしてほしい。

4. 健康寿命の仕組み作り

マンションの管理人に民生委員の役割を果たしてもらい、健康寿命を伸ばす仕組みに繋げる。また空き家等を活用して人が集まれる拠点を作る。待機児童の課題とマッチングするのもあり。

5. 治安の良い環境作り

風通しの良いコミュニケーション作りが必要。身近な環境にどう一緒に寄り添うか。

「感想カード」

今日、参加して感じたことなど、自由に感想カードに記入していただきました

まちづくりの提案

○若い職員さんが参加されてて…さわやかです。ファシリテーターの方、おしつけがましくなくて好感。夏の温度2度下げる…ゴーヤだけでなく、もっとまじめに真剣に取り組むこと、皆で考えようという意味です。水辺や木々を増やす、活かす…ということも含むし…。それが出来なければ将来、地下都市計画も半分まじめに話してみたいです。

○初めての参加で、色々な意見が聞けてよかったと思いました。どのグループも縦割りの関係（若い、老）、自治会などがうまくできていない（私のまわりも感じる）。これから先を考えると、年代がうまく交わるようにして（場などもうけて）、子供たちにいい越谷になっていくようにねがいたい。

○これから10～15年の事も大切だが、30年後、他県、世界の人達がわざわざ越谷に買いに来る、見にくる、あるいは世界に輸出出来るものの育成が必要と思われます。30年後、世界のお金持ちのお年寄りたちがあと残された10年、20年、越谷にうつり住んだり、ここでゆっくりplanをつくって自国に帰る、そんなお年寄りたちのいいの場所、そして障がい者の人達がゆったり生活できる「障がい者のいいの街」を目指してはいかがでしょうか？その第1段階の布石として、出羽地区に新駅をつくる。バリアフリーのいきとどいた通路、出ると広々とした出羽チューリップ公園と「障がい者の人達のための世界初温泉サウナ」を造ることを提案します。

今後の進め方について提案

- 前回につづき2回目の参加となります。市民協働部、福祉部、建設部、学校教育部…etc. 土日ですが行政の皆様、来て下さい！皆さんのお仕事が全て合わさってこそその市政です。お願いします…
- 様々な考え方があるし世代間で情報量の違いがあると感じた。今回は若い人・高齢者が混じっての話し合いだったが、テーマによって同世代の方達と話し合うと、もっと深く考えをまとめられるのではないかな。表面だけの話し合いになってしまった様な気がしますがこの懇談会はこれで良いのかなとも思います。
- 同席者の様々な意見をまとめて提言にすることは、思ったより骨の折れる作業だった。各班で司会進行役など、早めに割り振った方が後半楽になると思いました。
- 今日の議論で多くのヒントが出たと思います。他のテーマとの関連性も強く、解決には難しいプロジェクトもありますが、市にはぜひ施策に組み入れて頂きたい。机に基本条例のQRコード付きのティッシュがありました。便利なのでどんどん活用して頂きたい。行き先のサイトでは、市民同士が会話できるとか、一市民の活動が基本条例と関係性がある事例など紹介してあればなお良いと思いました。
- 楽しい時間でした。市のワークショップ開催の判断は素晴らしいと思います。次回のワークショップの準備（宿題）ができるとより、効率的に運営できると思います。連続参加の方が多くいようですから。市の問題認識をより明確に示してもらえると良いです。資料のPDFを提供して欲しい。
- 第1回に引き続き賛否が分かれることなく、穏やかな議論ができました。今後は参加できない日が出てくることもあります。生の声を聞くことができる機会はとてもありがたいです。マスタープランに関係のない時期でも、他市の情報を開示しながら市民の話を聞く場を設けて下さい。
- 今日、出されたデータを分析して下さい。横串で共通項目を選ぶ。その結果を更に分析し、可能なものから実行に移す（5年間計画にスケジュールを落とし込む）。
- 余りにかたよった見解の持ち主が存在すると、ワークショップのとりまとめも結構難しいですね…。議論を深めるために、課題にあった詳細な市のデータが提供されるとよい。



いろんな方と話せて良かった

- もっと時間があつた方がいい。色々な人々との交流が図れて良かった。楽しかった。特に同チームに視覚障害の方がおられて、もっと「どんな点が不便でどんな街になって欲しいのか」など聞いてみたかった。皆さんの意見や不満がしっかりと都市計画に反映されることを切に願います。「次回はこんなことを聞きますので準備して来て下さい」って事前に行ってもらえると、もっと意見が出たのでは？と思いました。
- 多くのいろんな意見、面白く聞きました。
- 幅広い年代、多様な背景を持った人達と交流できたことが大変、有意義でした。気づいていない視点や要望も多く、勉強になりました。
- 第1回に引きつづき、とても楽しい時間でした♡現状の問題点をベースに、改善すべき点を盛り込んだ夢プロジェクトを考えるのですが、その実現方法が実に多様で、それぞれに興味深く、ワクワクしてとても楽しかったです!!普段はなかなかここまで深い話を、このような様々な年代の方、地域の方と話すことはないなので、本当に貴重な時間でした。ありがとうございました。

有意義だった、勉強になった

- いろいろな視点からのご意見を伺うことができ、勉強になりました。世代をこえて住み続けたいまちになるよう、行政の柔軟なご対応を期待しております。
- 前回よりも深い話し合いが出来て、有意義な時間となり良かったです。
- 前回とはまた違った感じの懇談会になったと思います。福祉分野であれこれ考えてみると、行き着くところ全分野に及ぶ事の確認ができたと思います。自分の気付かなかった面やキーワード等も勉強になりました。
- 大変勉強になりました。
- あらためて「福祉、健康、子育て」について考えてみる機会を頂き、楽しく話しができました。ありがとうございます。
- 1回目に欠席でしたが、今回出席させていただいて勉強になりました。週4日仕事をしている為、近隣の方とのコミュニケーションが少ないと思ってます。婦人防火クラブの会長を受けていますが、活動を頑張りたいと思いました。
- はじめて参加したが、中味の濃い意見がきけて良かった。
- 解決策を伴ったプロジェクト提案は少なかった。やはり手段を伴った提案となるとむずかしい。第1回、第2回とも交通問題が出ていた。やはり「モビリティ」がKey Wordと思う。人の動き、物の動きを含めて（買い物、病院通い、マンション内etc.の交流）。
- 福祉、子育てはこれからになりますが、当事者になった時点で良い環境になっており、また次世代へと引き継げれば良いと思います。
※3ヶ月の赤ちゃんはいます。

若手職員の感想

- 様々な意見がきけてよかったです。視点、みかたがちがうと、みえる所もちがい、問題もちがうことがわかりました。市民の方がわかりやすい、福祉サービスが作れば良いと思いました。
- 普段ではふれあわない方々とお話する事ができて貴重な経験ができました。障がいのある方がどの様に困っているかや、教育現場が何を求めているかなどを少しですが知る事ができました。
- 色々な分野に携わっている皆様のお話、ご意見を伺うことができ、今後の職務の参考となりました。
- 通常の業務において頂くご意見とは違った意見を聞けて勉強になりました。大まかな課題をお聞きしたので、具体的な課題を検討していかなければならないと感じました。
- 福祉、健康、子育てについて様々な視点からの意見、様々な立場からの意見が聞け、議論でき、とても有意義だった。
- 通常業務とは違った視点で、市民の方からのご意見を伺うことができました。福祉、健康、子育てという分野の課題についてさらに認識が深まりました。今後も、市民の方のご意見を意識しながら業務に取り組んでいきたいと思っています。



5グループ

6グループ



発行：越谷市 市長公室 政策課

TEL：048-963-9112/FAX：048-965-6433

都市整備部 都市計画課

TEL：048-963-9221/FAX：048-965-0948